文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	和歌山市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	和歌山市文化遺産活用活性化事業	【計画の改善時期】 平成 30年度	
4 実施計画期間	平成 23 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>和歌山市内の無形文化財や伝統芸能などの文化遺産を活かし、その文化遺産が根付く地域の活性化を推進するため、岩倉流泳法・岡崎団七踊りの後継者養成事業に平成30年度から和歌祭の後継者養成事業を加えて実施し、それに伴い必要となる用具等整備事業を実施する。</p>			
6 実施体制			
<p>和歌山市教育委員会が、本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等を行う。また補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>和歌山市文化遺産活用活性化事業実行委員会 構成団体： 和歌山市教育委員会 特定非営利活動法人W I S C（「岩倉流泳法」関係団体） 岡崎団七踊保存会 和歌祭保存会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 41,459 千円	平成30年度申請額： 1,303 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>和歌山市の文化遺産に係る情報発信を積極的に行うことで、地域の文化遺産に対する関心が向上し、同時に人材育成を行うことで、継続的に文化遺産に対する関心を維持していくことができる。</p> <p>また無形文化財や伝統文化の後継者育成を行うことで、地域の文化遺産の質を保ちつつ、地域の帰属意識を高め、将来に継承していくことができる。</p> <p>それらにより、文化遺産を活かし、その文化遺産が根付く地域の活性化を行い、さらに和歌山市全体の文化遺産に対する意識を高めることにより、対外的な観光資源としての活用も期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	平成30年度から実施予定の「和歌山市歴史的風致維持向上計画」事業の一つである、伝統文化・民族芸能を普及啓発するための次世代の担い手育成事業を、社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）で行う。		
事業概要：	和歌山大学の紀州経済史文化史研究所地域活性化事業実行委員会が、平成30年度補助事業申請予定の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」で、和歌祭の普及啓発者後継者育成事業を行うため、これに和歌山市や和歌山市文化遺産活用活性化実行委員会も連携・協力して行っていく。		
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
平成29年度に「和歌山市歴史的風致維持向上計画」を策定し、平成30年1月に申請。平成30年3月26日に国の認定を受ける。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	和歌山市 文化スポーツ部 文化振興課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	岩倉流泳法保存会・岡崎団七踊保存会への参加住民数			関連事業:	①	
目標値 1 :	【現状値】 平成 23 年度 101 名 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 125 名					
設定根拠 1 :	各補助事業の参加者数 (地域児童数の減少が続く中、毎年目標値 (総人数 125 人) の 80~85% の参加者がある。今後も 85% 以上の参加率を維持して行きたい。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
125 名	名	名	名	名	名	
100%						
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	和歌祭の祭礼行事への参加住民数			関連事業:	②	
目標値 2 :	【現状値】 平成 29 年度 1,000 名 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,000 名					
設定根拠 2 :	紀州東照宮創建・和歌祭 400 周年 (2021・2022) に向けて重点的に整備活用を予定しているため、継承体制の維持を見込む。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
名	名	名	名	名	名	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	文化遺産総合活用推進事業					実施団体：	和歌山市文化遺産活用活性化実行委員会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 23 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	和歌山市内の無形文化財や伝統芸能などの文化遺産を活かし、その文化遺産が根付く地域の活性化を推進するため、岩倉流泳法・岡崎団七踊の後継者養成事業を実施する。										
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	岩倉流泳法保存会・岡崎団七踊保存会への参加住民数										
目標値：	【現状値】 平成 23 年度 101 名 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 125 名										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
125 名	名	名	名	名	名						
100%											
事業②：	文化遺産総合活用推進事業					実施団体：	和歌山市文化遺産活用活性化実行委員会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度				
事業概要：	和歌山市内の無形文化財や伝統芸能などの文化遺産を活かし、その文化遺産が根付く地域の活性化を推進するため、和歌祭の後継者養成事業を行い、それに必要な用具等整備事業を実施する。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	和歌祭の祭礼行事への参加住民数の維持										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 1,000 名 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 1,000 名										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
名	名	名	名	名	名						